

令和2年8月24日

第2学期 始業式 校長あいさつ

愛龍生のみなさん、おはようございます。校長の倉持です。

2学期が例年より約1週間早く始まり、先ほど各クラスの級長・副級長を任命しました。級長・副級長を中心にクラスがまとまり、クラスの活動がより活性化されることを強く望んでいます。

学校行事はコロナ感染防止対応で、変更をせざるを得ない状況ですが、その中でもできることは何かを、生徒の皆さんと一緒に考えながら、判断していきたいと思っています。

今年の夏は、コロナ感染・連日の危険な猛暑で、特別な夏ですが、本校にとっては、これまであまりなかった「部活動の活性化」が見られました夏でした。具体的には、サッカー一部の対外試合の参加、卓球部の他校との合同練習、1年生のみで先生と練習に励むバドミントン部、卒業生が来て激励された弓道部など、今年の夏は、本校にとって、部活動活性化を実現するためのスタートの夏になったように思います。

その中で特に、卓球部の1年生のTさんは先日の県南大会で活躍し、県大会出場を決めました。おめでとうございます。県大会での活躍を応援しています。

2学期の始業式に当たり、私からのメッセージがあります。昇降口のホワイトボードにも書きましたが、それは、「未来へ向かって自分を成長させるために、今の自分がやるべきことは何かを自分に問い続けよう。そして、失敗を恐れずに、自分の可能性を信じて一歩踏み出そう。」ということです。

私を含めて、先生方は皆さんに寄り添いながら、皆さんの伴走者として、皆さん一人一人の成長を応援していきます。

以上で、2学期始業式 校長講話を終わります。